



首都圏産業活性化協会発行

発行：一般社団法人首都圏産業活性化協会 〒192-0083 東京都八王子旭町9番1号 八王子スクエアビル11階 TEL:042-631-1140

TAMA経済NEWS

TECHNOLOGY ADVANCED METROPOLITAN AREA

VOL.34 2023.07

制作：かながわ経済新聞

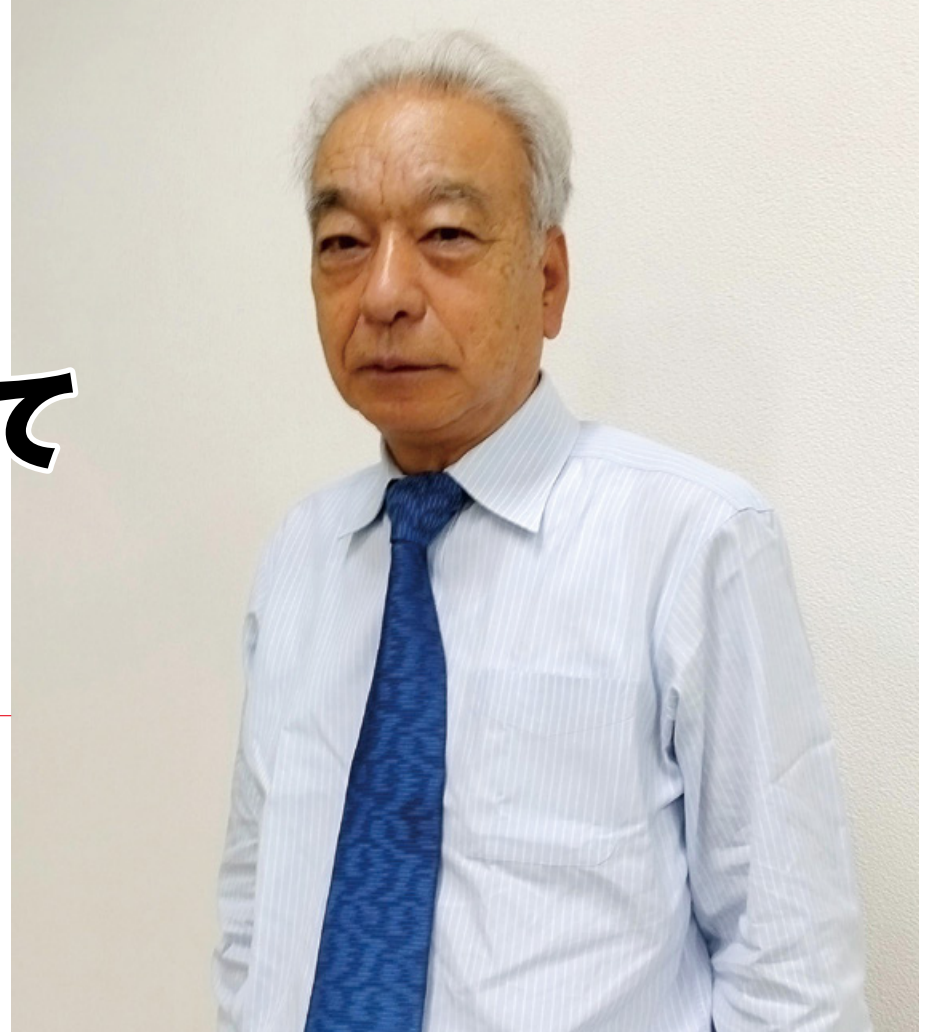
首都圏産業活性化協会会員の構成(令和5年6月23日現在総数511) ●営利法人:245(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関:29 ●団体:65 ●自治体:19 ●個人会員:153(コーディネーター含む)

トップインタビュー

創業から50年、 技術開発力と 取引先に支えられて 成長を続ける

株式会社ソマールゴム 代表取締役社長 尾池 重孝氏

ウレタンゴム製品専門メーカーのソマールゴムは、物流装置、医療機器からロボット関連、半導体業界まで、幅広い分野に使われる部材を供給しています。研究開発と設備投資に力を入れ、国内では同規模のメーカーに比べて設備の台数が格段に多く、今なお設備の拡張を続けています。今年創業50年を迎える同社の尾池重孝社長に、成長を続ける秘訣を聞きました。



50年かけて4工場に拡大

もともと私はウレタンと合成ゴム関係の製造メーカーに勤めていました。製造を経験した後、営業担当になりセールス活動をおこなうようになりました。折しもエスカレーターやエレベーター向けにウレタンゴムの需要が伸びていた時代で、外での活動をしていくうちに「これからはウレタンゴムでやっていける」と確信し、一念発起し27歳の時に独立を決めました。1973年のことでした。

幸いなことに周囲の方々にさまざまなご協力をいただき、埼玉県三芳町で小さな工場を創業することができました。その後は工場が手狭になり、76年に現在の所在地である埼玉県狭山市に移り、79年には工場を増設、95年に日高工場を建設しました。その後2004年に第二工場および新事務所棟、13年に第三工場をそれぞれ建設しました。現在は第三工場の隣地に工場用地を取得し、新たな設備投資も予定しています。

独自の研究開発と先行投資で 業容を拡大

当社の最大の強みは、他社にはない研究開発専門部門を保有していることです。研究開発および製造部門と相互協力しながら独自技術を磨き、需要の先を読み工場などの設備投資をしてきました。そのため、得意先の手企業からの新製品の開発依頼や原料メーカーとの共同開発など、さまざまな依頼があとを絶ちません。

03年には独バイエル社(現コベストロ社)とのライセンス契約により「ブルコラ

ン」の商標権を取得し、その後当社の主力商品の一つとなっています。「ブルコラン」は高強度のウレタンで、これを採用したことにより、ソマールゴムのウレタンは高品質であることが印象付けられたと思います。

さらに現在は、「ブルコラン」のみならず、産学共同にて大学の研究室からの依頼を受けて、産業用ロボットに関する商品の開発にも取り組み中で、試行錯誤しながら日々格闘しています。

また、大手半導体製造装置メーカーに当社の開発品が採用されたことで、同社からはさらなる高品質製品開発の依頼も来ており、今後も開発の課題が絶えません。

ウレタンのことなら1個から数万個まで

当社はウレタンに特化しており、製造方法も大きく分けて4種類をそろえています。用途や価格、納期などお客様の要望に合わせて最適な方法を提案しています。量産案件はもちろんのこと、少量生産や多品種といった個別案件にもスピーディーに

対応しており、「ウレタンのことなら1個から数万個まで」を基本方針としています。

例えば1個の搬送部品のウレタンライニングなら、簡易型を使った注型方法。また、数万個の量産生産なら、仕上げ作業が不要でかつどのような形状にも成形できるプレス成型方法や熱可塑タイプウレタンのインジェクション成型方法など、お客様のニーズに合わせて選択し提供もできます。

業界を絞っていないため、幅広い業界との取引があり、現在トレンドとなっている半導体、自動倉庫の搬送設備、ロボット関連分野などさまざまな業種・業界からの依頼が年々増えています。

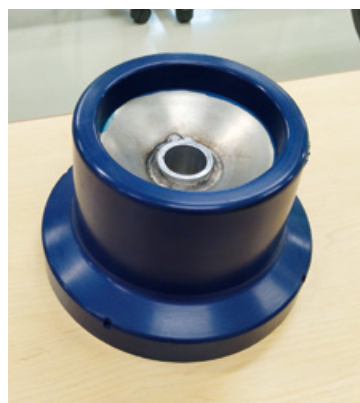
今後は、従来の成形方法に加え、新たな製造方法も模索中です。新しい技術や手法が確立されれば、さらなる新規業界への進出も可能ではないかと、夢は広がるばかりです。



自信をもって常に前進を

現在、ウレタンゴムに特化した製造メーカーは国内に数社あると思いますが、中でも当社は、規模や設備においてもトップクラスに入るのではないかと自負しています。それは取引先が累計で1000社を超えていることや、日々の問い合わせが絶えず舞い込んでくることに裏付けられています。それらの一つひとつの案件に真摯に取り組んできた結果が、現在のソマールゴムをつくっていると考えています。

小さな工場から裸一貫で始めた事業ですが、周囲のみなさまに支えられてここまで走り続けてこられました。これからもお客様の要望や希望に寄り添い、かつ自身の成長を続けられるよう、積極的にチャレンジしていきます。



商号 株式会社ソマールゴム
代表者 代表取締役 尾池 重孝
所在地 埼玉県狭山市柏原654-8
創立 1973年7月5日
ホームページ <http://www.urethane.co.jp/>



My proud technique is...

TAMA協会会員の

今月の

ワザ自慢!



効率アップ、品質向上、明日のイノベーションのため、独自に磨いた技・業・ワザに学びたい。コンペティターや見えない市場を想定し、自社の強みを打ち出すところに成功の鍵がある。

電子部品製造販売 コスモリサーチ株式会社

独自の無線技術で ソフトからハードまでイチから開発

コスモリサーチ(さいたま市北区)は、独自のソフトウェア無線技術をベースに、無線通信機や信号処理機器の開発製造を手がける。ソフトウェア無線(SDR: Software Defined Radio)とは、ソフトウェアの変更によって機器がAM無線機になったり、FM無線機になったり、果ては地デジ(OFDM: 直交周波数分割多重方式)の送受信機になったりする無線機のことを指す。

同社は、ソフトウェア無線開発プラットフォームをベースに、航空管制用無線機など、実際に電波法をクリアする送受信機を開発、製造、出荷する。

チーフエンジニアの平山瑛司執行役員によると、「当社はHF帯からミリ波まで、ハードとソフトを一から設計することができ、SDR技術の採用により、カスタマイズも比較的容易にできる」という。

従業員20人のうち、18人が技術者。強みは「ハードもソフトも分かる技術者が、それぞれ得意な分野をもちつつ、クロスオーバー(境界を越えて混じり合うこと)しながら、スピード感を持って開発できること」(平山執行役員)として

いる。有名大の大学院卒や国立高専卒の新入社員も入社するなど、若手も含めて優秀なメンバーが集まる。

また、研究開発型の同社は、製造受託企業(EMS)との協業により、試作から量産まであらゆるロットの生産に対応。ビジネスモデルでは、自社ブランドと共同開発を2本柱とする。

生産量の少ない製品については、NHKやNICT(情報通信研究機構)、JAXA(宇宙航空研究開発機構)などへ自社ブランドで開発納入。グローバルな市場を狙う製品については、マーケットを熟知した企業との協業による開発も手がける。「今後は量子コンピュータのマイクロ波を用いた制御などの開発にも取り組みたい」(平山執行役員)意向だ。

商号 コスモリサーチ株式会社
代表者 代表取締役 伊藤 武司
所在地 さいたま市北区宮原町3-148-5
創立 1988年4月4日
ホームページ <https://www.cosmo-research.co.jp/>



ソフトウェア無線機プラットフォーム



ミリ波40GHz帯アップコンバーターユニット

〔本コーナー掲載企業募集中〕

貴社の「ワザ自慢!」を記者が取材します。お問い合わせは、事務局(info@tamaweb.or.jp)まで



株式会社カイ

×

芝浦工業大学

生コンの品質判定を建築現場で行うAIエ

医療・科学技術系ソフトウェア開発やAI・機械学習・画像処理などのコンサルティングを手がける株式会社カイ(東京都国分寺市)は、AIと画像解析処理を用いて生コンの性状を判定するAIエッジデバイスを開発している。「令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)第2回」に採択され、芝浦工業大学と連携し開発を進め、事業管理機関として首都圏産業活性化協会(TAMA協会)が各種申請手続きなどをサポートした。

建築業界では、高齢化などに伴う技能労働者の減少と、人手に頼る生コンの品質管理という2大課題に直面。政府は生コン情報の電子化への取り組みを急ピッチで進めている。

同社は、AIと画像解析処理を用いた生コンの性状判定技術を内蔵し、耐環境性に優れたAIエッジデバイスを開発中である。多くの建

築現場で、人手に頼らずAIが自動的に判定できる技術の普及を目指す。

Go-Tech事業で芝浦工大と連携

開発の経緯について、同社の堀澤知義社長は、「きっかけは東京都中小企業振興公社のマッチングでした。私どもの画像判定技術を活用して、急いで取り組みたいことがあると、大手建設会社様から声がかかりました」と説明する。「当社としては長年、東芝の原子力研究所や、NECの医療分野における機械学習判定などに携わってきまして、そのあたりに興味を持っていただけではないかと思います」(堀澤社長)。

同社は生コンの品質判定のAIエッジデバイス化にあたり、研究開発助成金への応募を検討した。さまざまな助成金を調べていたところ、Go-Tech事業は産学連携により共同体を組成

しないと取り組めないことが判明。「ちょうどTAMA協会様と連絡がとれ、申請期限が迫るなかで、非常に無理なお願いをした形でスタートしました」(堀澤社長)。TAMA協会は連携先として、また、支援機関として中小企業基盤整備機構を芝浦工業大学に紹介し、短期間で申請にこぎ着けた。

建築現場に到着した生コンを

ビデオカメラと分析システムで判定

今回、Go-Tech事業で開発中のシステムは、ビデオカメラとAIによる生コンの解析システムを搭載したエッジ端末にノブランプを連携させることで、現場で生コンの良し悪しを判定できるシステムになっている。生コン工場からミキサー車で運ばれ、建築現場に荷卸されるコンクリートの全量を連続的にモニタリング、動画像を分析すると、注文したおりの生コンであるか否かを判

定し、判定結果はインターネットを通じて事務所のPCに連絡することが特徴だ。

現状の生コン性状判定では、ミキサー車が建築現場に入って来た時に抜き取り検査を実施している。具体的には、ミキサー車の生コンをバケツでくみ取り、ベテラン検査員が目視で生コンの状態を確認する。人手による抜き取り検査のため、検査員の経験や技量が求められ、場合によっては見落としなどの可能性もある。

この検査は、時間の経過などにより施工性が悪くなったコンクリートが検査されずに、建築現場に荷卸しされるのを防ぐために行っている。施工性が悪いコンクリートが型枠内に打ち込まれてしまうと、初期欠陥を防ぐことが困難となる。そのため、管理や検査の頻度を増やしたり、専門の監視員を配置したりする必要があるものの、人員の確保や手間、コストが問題となっている。

INFORMATION

総会報告

議案がすべて承認、会員交流会・講演会も開催 ～藤吉編集長が語る「スモールジャイアンツ」とは～

当協会は6月23日、八王子市学園都市センター（東京都八王子市）で令和5年度通常総会と会員交流会「つなぐWaセッション特別編」を開催しました。総会には69人（オンラインで73人）が出席。昨年度の事業報告や収支決算、今年度の事業計画案、役員選任案などが審議され、すべて原案通り可決されました。総会で野長瀬裕二会長は、「当協会が地域産業支援のハブになることを目指したい」と、決意を新たにしました。



また、会員交流会では「Forbes JAPAN」藤吉雅春編集長に「SMALL GIANTS（スモールジャイアンツ）AWARD歴代受賞企業と語るここだけトーク」と題し講演いただきました。藤吉編集長は企業取材での経験談として、「スモールジャイアンツの企業を取材すると社長が職人さんへのリスペクトを持ち、社員とも仲がよいという共通点があります」などと語りました。

後半は受賞企業の経営者が加わってパネルディスカッションに移行。（株）industria・高橋一彰社長、（株）協同商事・朝霧重治社長、（株）オータマ・奥村哲也社長が登壇し、それぞれが事業承継

や新規参入時の苦勞、会社を変えるまでのいきさつなどの経験談を余すことなく語り、会場からも熱心な質問が寄せられました。

終了後には特別企画として、桜美林大学アカペラ部「桜唄（はなうた）」によるアカペラ演奏会も行われ、会場は大いに盛り上がりしました。



TAMA TOPICS

詳細や申し込みは、二次元バーコードからウェブサイトへ

Layer1:交流

第40回つなぐWaSession



中小企業が経営改善や新規事業の立ち上げなどに取り組む際、必要な資金は内部留保や金融機関からの借入れで賄うことが多いです。それと合わせてぜひ検討したいのが補助金と助成金の活用です。

今回は経済産業省が中小企業の研究開発・試作品開発を促進する「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）」の公募要領を例にとり、詳しく解説いたします。

「補助事業、助成事業の戦略的活用 ～Go-Tech事業の公募要領を例にポイントを解説～」

日時:2023年7月28日(金) 16:00～17:30

場所:八王子市新産業開発・交流センター（JR八王子駅ビルセオ9F）※Zoomオンライン併用

ゲストスピーカー:

経済産業省 関東産業経済局 産業部 製造産業課 課長補佐 小坂由樹 様

Layer1:交流

第2回 攻めと守りのサイバーセキュリティ対策ワークショップ

2022年3月、トヨタ自動車のサプライチェーンに連なる自動車部品メーカーがマルウェア被害を受けたことは記憶に新しい出来事です。今やIT活用に取り組もうとする中小製造業にとって、サイバーセキュリティ対策は、顧客や取引先の信頼獲得のために、必須の取り組みといえます。この度、自社の情報セキュリティ対策のレベルを「見える化」した上で、基本的な対策を講じるための機会（集合研修）をご用意しましたので、是非、ご参加ください。

【開催概要】

日時:2023年8月24日(木) 13:30～17:45

会場:東京都立多摩産業交流センター（東京たま未来メッセ）3階 第2会議室

対象:[SECURITY ACTION](※注)未宣言または一つ星まで宣言済みの企業の経営者及び情報セキュリティ対策の担当幹部

内容:参加企業は、情報セキュリティ自社診断の結果を基に、ワークショップを通じ、自社のセキュリティ対策レベルを「見える化」した上で、情報セキュリティ基本方針と、従業員教育のためのハンドブックを作成します。なお、各社には、後日、「SECURITY ACTION」二つ星宣言を実施頂きます。

受講後の成果物:①社内外に発信する「情報セキュリティ基本方針」の作成

②従業員に配布する「情報セキュリティハンドブック」の作成

定員:先着20社40名様(1社あたり2名まで)

※「SECURITY ACTION」は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が推進中の取り組みです。



詳細はこちら

ツジデバイスを開発中

日本では現場でAIを活用することこそが 鍵をにぎる

AIと画像解析処理で生コンの性状判定をリアルタイムで行う際、現場のタブレット端末などからインターネット経由で一度サーバーにデータを送って解析処理をしていると、タイムラグが生じてしまう。そこで、堀澤社長は「現場で判定させるためには、手のひらサイズのチップが必要だった」と、AIエッジデバイスを開発した背景について語る。

「今後は、天候や日の差し方などにより変わってくる、生コン性状の変化の予測にも取り組んでいきたいです。今回の取り組みは建設業に限らず、さまざまな現場にAIエッジデバイスを導入する試金石にしたいと考えています」（堀澤社長）と先を見据える。



商号 株式会社カイ
代表者 代表取締役 堀澤 知義
所在地 東京都国分寺市本町2-7-5
創立 1991年2月25日
ホームページ <https://www.chi.co.jp/>







Tama Blue Green Prize

第21回 多摩ブルー・グリーン賞

募集期間
2023年7月31日(月)まで

実施概要

多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与することを目的に、優れた技術や製品を評価する「技術・製品部門（多摩ブルー賞）」と新しいビジネスモデルを評価する「経営部門（多摩グリーン賞）」の2部門から構成されています。それぞれ最優秀賞に100万円ほか各賞が授与されます。





広げよう会員の輪 新規会員の紹介

新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。



NEW

「産業技術に関するご相談、技術審査などを実施しています」

一般社団法人東京都産業技術振興協会は、産業技術に関する調査研究、普及啓発、交流連携などの活動を通じて産業技術の振興を図り、我が国の産業の発展に寄与することを目的として、首都圏産業活性化協会で3代目の会長を務めた奥村次徳が代表となり、2022年4月に設立された産業支援組織です。



会長 奥村次徳

設立後間もない組織ですが、公的試験機関OBによる自治体などの技術審査や技術相談、企業と支援機関との連携などの活動に取り組んでいます。

一般社団法人東京都産業技術振興協会 Tokyo Industrial technology Promotion Association (TIPA)
東京都足立区鹿浜8-16-10
TEL:03-3898-2756 URL:<http://www.ipa-tokyo.jp/npa/>

NEW

環境にやさしい、空気をきれいにする夢のパッケージをご提供

カネパッケージは、主に精密・医療機器の輸送に使われる各種緩衝材・梱包材の設計～開発、製造のほか試験及び販売を行っている会社です。開発する緩衝材や梱包材はダウンサイジング化・省資源化などを考え、常に物流コストやCO₂の削減を推進し、脱炭素社会実現に向けた環境配慮型の商品設計開発を積極的に行っております。



カネパッケージ 株式会社
KANEPACKAGE CO., LTD.

埼玉県入間市南峯1095-15
TEL:04-2936-3031 FAX:04-2936-3036 URL:<https://www.kanepa.co.jp/>

NEW

企業のDX化推進・業務効率化ならシステム技研にお任せを！ これからの人材難の時代に向けた生産性向上をお手伝いします

システム技研は1990年の設立から一貫して業務システム開発をおこなってまいりました。この間、さまざまな技術革新、労働環境の変化、価値観の多様化など企業を取り巻く状況は大きく変化をしております。当社も、単なる請負による業務システムの開発にとどまらず、お客様の業務分析、RPAを活用した業務自動化、最新のセキュリティ製品によるサイバーリスクからの防御など、幅広くご提案をさせていただいております。



株式会社システム技研
東京都八王子市旭町12-4 日本生命八王子ビル5F
TEL:042-646-6051 FAX:042-646-8927 URL:<https://www.sysgiken.co.jp/>

NEW

財団設立50周年 ～科学技術の発展と国際交流の推進に貢献し続けます～

科学技術全般の一層の発展を図り、国民生活の向上及び国際的な相互理解の促進に寄与することを目的として、次の事業を行っています。

- ①岩谷科学技術研究助成 大学、高等専門学校の研究者への研究助成
- ②岩谷直治記念賞 優れた技術開発かつ産業上の実績に対する表彰。2023年・2024年は、財団設立50周年を記念して、中小企業を対象とした表彰を行います
- ③岩谷国際留学生奨学助成 東アジア・東南アジアからの大学院留学生支援



公益財団法人
岩谷直治記念財団

公益財団法人岩谷直治記念財団
東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル18階
TEL:03-6225-2400 URL:<https://www.iwatani-foundation.or.jp/>

NEW

個人会員

荒井 渉(あらいわたる) TISS (TAMA IT Solution Service) 代表、ITコーディネータ、組織開発コンサルタント **得意領域** デジタル力診断を用いた人材不足に負けない組織づくり支援

松田 守且(まつだ・もりかつ) 技術士(総合技術監理部門/機械部門) **得意領域** 研究開発機械設計: フライス盤・ワイヤーカット機・パンチプレス機・レーザーカット機・金属3次元プリンタ・熱音響エンジン等。欧州研究所&工場にて8年勤務・共同開発・CEカーキング所得業務経験等

新規登録TAMAコーディネーターの紹介



神坂 彰夫(かみさか・あきお)

ファイブオークソリューションズ株式会社代表取締役
ランチェスター協会認定インストラクター

得意領域 ビジネスプラン・経営戦略

支援分野 ▽製造業
▽小売り、サービス業等々
▽六次産業

こんな人です

アルミ総合メーカーでルート販売の基礎を学ぶ。国内系コンサル会社に移り、中堅企業の経営診断、戦略立案等多数経験。総合商社国内販売部門でエネルギー販売実務、新規事業立案、社内ベンチャー等立ち上げ、これら経験をベースに中堅中小企業向け経営コンサルタントとして独立。その傍ら、永年にわたり(公財)東京都中小企業振興公社にて、販路、助成金事業をコーディネート。同時に檜原村の地域活性化事業に関与中。

メッセージ

コンサルティングの成否は、課題の抽出とその背景にある真の根本原因の把握だと考えます。上辺だけの議論だけでなく、クライアント様とズバリ真の根本原因を話し合い、しっかりと把握、認識できなければ課題の解決、対策は覚束なく、経営改善、経営戦略の構築は危ういものとなります。クライアント様とご一緒に問題解決を図るためには、時にはきつくなるかもしれません。真実が話せる意思疎通が重要であります。

コーディネーターとは… 一般的に「コーディネーター」とは、さまざまな人の想いや場の状況を整理し、物事が円滑に進むように調整する役割を持つ人のことを指します。複数の組織や立場の方が連携しながら進めるべきプロジェクトが数多くありますが、コーディネーター自らの確かな知識や経験、豊富な情報をもとに、連携をスムーズに調整する役割を果たします。 ※コーディネーター一覧はURLからもチェックできます。



TAMA経済NEWS(つなぐWa)では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局(info@tamaweb.or.jp)までお問い合わせください。
【サイズ】①横57[㍥]×縦48[㍥]、②横57[㍥]×縦100[㍥]、③横262[㍥]×縦98[㍥]、④横127[㍥]×縦142[㍥](特別枠)の計4タイプがあります。

発行元・問い合わせ

一般社団法人首都圏産業活性化協会会報「つなぐWa」は、協会ホームページへ掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。

一般社団法人首都圏産業活性化協会 Email:info@tamaweb.or.jp URL:<https://www.tamaweb.or.jp/>

■八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1八王子スクエアビル11階 TEL:042-631-1140 FAX:042-631-1124

■羽村サテライト(月曜日休館)

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2-11-1羽村市産業福祉センター1階 TEL:042-570-3481 FAX:042-570-3482